

ロシア為替週報

2021年12月13日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(12月4日～12月10日)

USD/RUB: 73.278～74.522

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、週明け6日、下押しが先行したものの、7日以降反発、その後週引けまで堅調推移を続けた。6日のルーブル下押しは、3日発表された米11月失業率の大幅低下などを受けたドル全面高の色彩が濃く、米利上げ前倒し観測の強まりはルーブルを含む新興市場通貨全般の重石には違いなかったものの、対ユーロ、対円などでのルーブルの値動きは限定的だった。7日以降のルーブル反発に、並行した原油価格の反発が貢献した可能性は十分考えられたが、それ以上に、同日開催された米ロ(ビデオ)首脳会談を好感した値動きだったのではないかと見られる。ウクライナ東部の軍事的緊張などに関し、なんら具体的な成果は得られなかったものの、今後も対話を継続していくことが確認された点などは、評価することができただろう。その後も、円売り、新興市場通貨反発局面では、オミクロン株に対する警戒感の低下(感染力と反比例した重症化/死亡リスクの低さや既存ワクチン有効性の確認など)も度々材料に引き出された。8日には、ロシア中銀ザボトキン副総裁が、17日の金融政策委員会を前に、「25b.p.利上げの可能性は低い」と大幅利上げを示唆する発言をし、また、同日発表されたロシア11月CPIは前年比+8.40%と僅かながら「強めの」市場予想を更に上回った。一連の経緯を受け、市場は100b.p.利上げの織り込みを一段と進めたが、ルーブルへの影響は限定的に見えた。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/6	8:50	国民福祉基金(USD)	11月	185.2bn		197.8bnr
12/7	13:00	外貨準備高(USD)	11月	622.5bn		624.2bn
12/8	16:00	CPI(前年比)	11月	+8.40%	+8.35%	+8.13%
12/10	9:20	財政収支(RUB/年初来)	11月	+2337.6bn	+1904.1bn	+2140.1bn
	13:00	貿易収支(USD)	10月	+19.8bn	+18.0bn	+20.0bn

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(12月11日～12月17日)

USD/RUB: 72.60～73.80

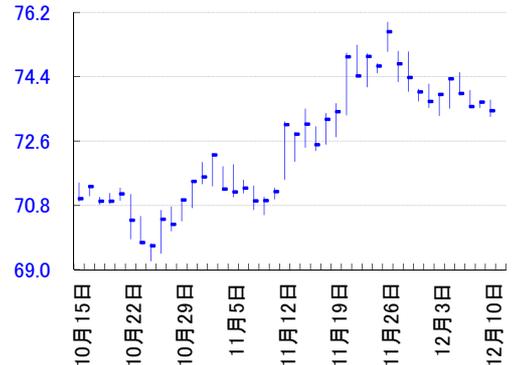
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、17日のロシア中銀金融政策委員会における100b.p.利上げ予想が揺るがないとの前提で、足元堅調推移の継続を予想。ロシア中銀が17日に100b.p.の利上げに踏み切れれば、昨年12月に政策金利とCPI(前年比)が逆転してから、約1年ぶりに政策金利がCPIを上回ることになる(発表日ベースで見ると、今年8月に小幅逆転した期間もあった)。足元期待インフレ率の上昇もあり、先行き物価動向はまだまだ油断ならないものの、手元の試算では、1月には一旦天井を打つ公算が高く、上手くいけばこれで利上げが打ち止めになる可能性も展望できなくはない。物価の先行きに落ち着きが見えれば、9月以降大きく水準を切り下げたルーブル建ロシア国債(OFZ)にも反発余地が生まれ、そうなればひとつのルーブル下支え要因になる。一方で、東ウクライナを巡る軍事的緊張は、引き続きルーブルの大きな重石。NATOは、ロシア金融機関のSWIFT(決済システム)からの除外や、流通市場におけるOFZ取引制限などの追加制裁の可能性も匂わせている。それ以上に懸念されるのが、仮に偶発的にでも、ロシア軍とウクライナ軍(場合によってはNATO軍)が実際に交戦することになれば、ノルドストリーム2の開業はいよいよ絶望的になることだろう。軍事的衝突の可能性は決して高いとは思わないものの、それだけのリスクと、10年物で8.5%前後というOFZの利回りとのバランスをどう判断するかということになるが、いくら年末年始の投資資金の滞留先としても、8.5%では、リスクを上回るほど魅力的な利回りとは思えない。それでもルーブル堅調を中心に見るのは、(軍事的衝突回避を所与に)対ドルで75を割り込むようなルーブル売りに一服感が出たと感じるのと、大幅利上げ期待が期待にとどまるうちは、それがルーブルに一定の押し上げ要因になると見込むからに過ぎない。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/15	16:00	GDP(前年比)	Q3 P		+4.4%	+10.5%
12/17	10:30	1週間物入札金利			8.50%	7.50%

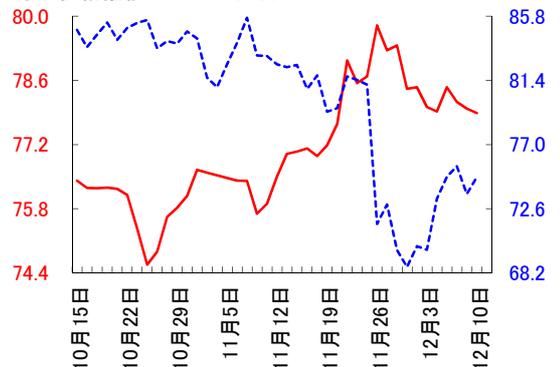
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移(日足/ロンドン7:00～17:00)

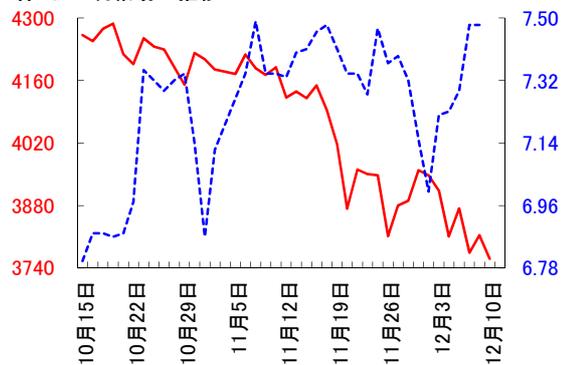


株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)

原油価格推移(ブレント直物)



株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		7.50%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+4.3%
失業率	10月	4.3%
消費者物価(前年比)	11月	+8.40%
小売売上高(前年比)	10月	+4.1%
鉱工業生産(前年比)	10月	+7.1%
貿易収支(USD)	10月	+19.8bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。